

2021年9月9日

高齢者の骨粗鬆症を早期に発見するための 新たな取り組み

～シニア向け分譲マンションのご入居者様を対象に
その場限りではない支援を実施～

革新的なヘルスケアサービスをプロデュースして健康的な社会づくりに貢献することをミッションとするケアプロ株式会社（以下ケアプロ）では、アムジェン株式会社、株式会社フージャースケアデザイン、公益財団法人骨粗鬆症財団、ロコモ チャレンジ！推進協議会と連携し、シニア向け分譲マンションのご入居者様を対象とした新たな骨粗鬆症予防啓発活動を実施します。

シニア向け分譲マンションに赴いて実施することで、近隣の医療機関も紹介しやすく、常駐の看護師による継続的な支援により、受診やその後の生活をサポートする体制が可能となります。

簡便なスクリーニング検査と分かりやすく適切な情報提供を通じて骨粗鬆症を啓発し、早期に確実に適切な治療を受けられる機会を増やしたい、その場限りではなく継続した支援をしていきたいという各者の思いが一致し、今回の連携にいたりしました。

▼社会的背景

日本の平均寿命は2020年の調査では女性87.74才、男性81.64歳に達し¹、誇るべき長寿国となりました。2020年の推定では、65歳以上の高齢者が占める総人口に対する割合は28.7%²、我が国の高齢化は世界に類を見ないスピードで進んでおり、このまま推移すると2065年には、2.6人に1人が65歳以上となると予測されています³。このため、健康に不安のない活力にあふれた長寿社会の実現が国民に課題となっており、特に予防が可能な生活習慣病の予防への取り組みがますます必要になっていきます。

骨粗鬆症は生活習慣にも深く関与している疾患の1つで、女性ホルモンの低下や加齢に伴い骨の量が減って骨折を起こしやすくなります。また、自覚症状を伴わないことも多く、「沈黙の疾患」ともいわれています。骨粗鬆症に罹患されている方は現在約1,300万人と推定されており、高齢化がすすむにつれ、今後その数は急増すると考えられています。特に女性に多く、65歳以上の女性の半数以上が罹患しているとも言われ、骨粗鬆症対策は社会的にも喫緊の重要な課題となっています。

さらに、2019年の国民生活基礎調査の結果では、認知症、脳血管疾患（脳卒中）、高齢による衰弱に次いで、「骨折・転倒」が主な介護の原因になっています⁴。骨粗鬆症では、軽微な外傷等で骨折を起こし、特に足の付け根の骨（大腿骨近位部）の骨折は、寝たきりや介護の大きな原因にもなります。この大腿骨近位部骨折は、日本で年間193,400件（男性44,100件、女性149,300件と女性が圧倒的に多いことも特徴）も発生しています⁵。これは3分に1件も発生しているということになります。さらに骨折が原因で介護が必要となった場合、5年間で推定1,540万円もの介護費の自己負担が必要になると試算されています。このため、骨粗鬆症による骨折を予防するためには、骨量の維持とともに転倒の防止が重要となります。

骨粗鬆症による骨折は、フレイル（身体的脆弱性のみならず精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすい状態）やロコモティブシンドローム（運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態）とも関連すると考えられており、積極的な予防対策は、喫緊の課題といえます。

▼骨粗鬆症を予防するには

早期発見、早期治療が重要で、まずは、自分自身のことを知ることが重要になります。自分の骨量を知る手段と特徴として主に下記があげられます。

- ・DXA法・・・全身で測定可能。2種類の異なるX線を照射して骨密度を測定する検査で、他の方法の骨密度検査と比べて最も精度の高い検査方法とされています。大がかりな機械が必要です。
- ・MD法・・・手のレントゲン写真をアルミニウム板と同時に撮影して、骨密度を測定します。
- ・QUS法・・・超音波を用いて骨の強度を評価する方法で、通常は踵の骨を用いて測定します。放射線を使用せず、持ち運びが可能な機器で、いろいろなところで測定が可能。スクリーニングに用いられます。

加えて、WHOが開発した今後10年間に骨粗鬆症による骨折を起こす確率をFRAX（フラックス）というインターネット上のツールで簡単に算出することができます。

FRAXでの骨折リスク評価と今の骨量を知ることで、自分自身の今の骨折リスクを知ることができ、生活改善、予防、早期発見につながります。

▼連携ビジョン

近年、持ち運びが出来るQUS法を活用してのスクリーニング検査や疾患啓発イベントはあらゆるところで実施され、骨粗鬆症の早期発見につながっています。

今回、予防医療に取り組むケアプロと、高齢者の健康に着目したシニア向け分譲マンションを運営するフージャースケアデザイン、骨粗鬆症領域での疾患啓発活動に取り組むアムジェン株式会社が協働し、シニア向け分譲マンションの住民に向けて新たな骨粗鬆症の疾患啓発活動を行います。さらにマンション常駐の看護師の骨粗鬆症に関する知識の向上、受診が必要な患者さんが適切なタイミングで受診、検査を受けることのできる環境づくりを目指します。

今までの実施してきた疾患啓発イベントは、その場限りのセミナーや検査が多く、参加者が具体的に受診や治療を開始するためのアドバイスや、生活の中で出てきた疑問にお答えするなど継続的な支援が出来ないことが課題としてあげられておりました。今回のシニア向け分譲マンションでのイベントでは、お住まいに赴いて実施することで、近隣の医療機関紹介等の支援もしやすく、マンション常駐の看護師による継続的な支援により、受診のみならずその後のサポートが可能となります。

簡便なスクリーニング検査とわかりやすく適切な情報提供を通じて骨粗鬆症を啓発し、早期に確実に適切な治療を受けられる機会を増やしたい、その場限りではなく継続した支援をしていきたいという各者の想いが一致し、今回の連携にいたりしました。

▼各者の紹介

- ・株式会社フージャースケアデザイン

「自分らしく輝ける、最高の舞台」である住まいと健康寿命を長くするサービスをお客様に提供するため、シニア向け分譲マンションの企画・販売・運営を行っています。施設内では日中、健康相談室にて看護師がご入居様の健康サポートを行っており、健康寿命を延ばしていく一環として、各種の体操を取り入れた運動プログラムや、疾患啓発のイベントを行っています。

- ・アムジェン株式会社

アムジェン株式会社は、世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業である米国アムジェン社の日本法人です。2013年10月にアステラス製薬との合弁会社であるアステラス・アムジェン・バイオファーマとして事業を開始し、2020年4月1日にアムジェン社の完全子会社となり商号を変更しました。アムジェン株式会社では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患を始めとするアンメット・メディカル・ニーズが高い領域に焦点を絞り、現在約600人の従業員が、「To serve patients – 患者さんのために、今できるすべてを」というミッションのもと、臨床開発から販売までの活動を行っています。

- ・公益財団法人 骨粗鬆症財団

人口の高齢化に伴い急増する骨粗鬆症について知識の普及啓発、調査研究並びにその助成及び内外の情報収集等の事業を行っています。今回のイベントでは、施設紹介、骨粗鬆症啓発資材とビデオ提供、骨粗鬆症専門医による教育を行いました。

・ロコモ チャレンジ！推進協議会

公益社団法人日本整形外科学会と株式会社博報堂が立ち上げました。広くロコモを啓発し、ロコモに負けない社会をつくるため、ロコモティブシンドロームの正しい知識と予防意識の啓発のための広報活動を推進しています。

新型コロナウイルス感染症を予防するために外出を控えている方も多く、運動量が減少し、その結果ロコモになってしまう方も多くありません。今回のイベントでは、骨の健康に加え、「立ち上がりテスト」等を実施し、ロコモティブシンドロームの啓発も同時に行います。

▼具体的な取り組み

令和3年9月に、2か所のシニア向け分譲マンションへケアプロの看護師が伺い、QUS法での骨の測定とFRAXによる骨折リスク評価を行います。今の骨の状態と将来の骨折リスク評価を知ること、高齢者が自分自身の骨折リスクを把握し、生活改善、予防、早期発見、適切な治療につなげていただく機会になることを期待しています。加えて、骨粗鬆症財団やロコモ チャレンジ！推進協議会よりご提供いただく骨粗鬆症やロコモティブシンドロームに関する教育資材を配付し、疾患についての知識向上の支援もさせていただきます。予定です。

日程や開催施設は下記です。

場所	デュオシーン国立	デュオシーン千葉ちはら台駅前
URL	https://www.duoscene.jp/kunitachi/	https://www.duoscene.jp/chiharadai-u/
住所	〒185-0035 東京都国分寺市西町一丁目 31 番地 1	〒290-0143 千葉県市原市ちはら台西 2-9-1
開催日時	2021年9月14日（火） 2021年9月28日（火）	2021年9月21日（火） 2021年9月24日（金）
居住者情報	<ul style="list-style-type: none"> ・居住者数は200～300名（1物件平均） ・平均年齢77～78歳 	

今回のイベントでYAM値やFRAX値を用いた判定結果が「受診をお勧めします」に該当された方へは、受診勧奨を行います。ご入居者様に配付しているチラシと骨チェックの結果用紙を病院へ持って行っていただき、受診勧奨を受けて検査を受けに来たことが分かるようにしています。

フージャースケアデザインの看護師とケアプロは、要受診となった方へ受診勧奨や病院の予約のお手伝いや、要受診となった方へ通院状況の確認を行います。

▼今後について

実施後には、下記をレポートにまとめ公表を予定しています。

- ・骨チェックの検査結果
- ・骨折経験の有無
- ・骨粗鬆症検診受診の有無
- ・骨粗鬆症検診の受診方法を知っているか
- ・今まで骨の状態について気にしたことはあるか
- ・骨粗鬆症のイメージ 等

今回の結果をみて、より参加者に合わせた質の高い啓発活動を行うことを検討します。さらに、このモデルを各高齢者住宅に広げることにより、より多くの方に質の高い啓発が出来るようにしていきたいと考えています。

[メディア掲載・取材に関する問合せ先]
ケアプロ株式会社 予防医療事業部 広報担当
連絡先：y_info@carepro.co.jp

[会社概要] ケアプロ株式会社 <https://carepro.co.jp/>
住所：〒164-0011 東京都中野区中央3-13-10 JOY HAYASHI3階
理念：革新的なヘルスケアサービスをプロデュースし、健康的な社会づくりに貢献する
設立：2007年12月12日
代表取締役社長：川添 高志（かわぞえ たかし） [看護師・保健師]

References:

1. 厚生労働省 令和2年簡易生命表
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life20/index.html>
2. 総務省 統計からみた我が国の高齢者
<https://www.stat.go.jp/data/topics/pdf/topics126.pdf>
3. 内閣府 令和2年版高齢社会白書 第一章 高齢化の状況
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/html/zenbun/s1_1_1.html
4. 厚生労働省 2019年 国民生活基礎調査
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa19/index.html>
5. Takusari E, et al. JBMR PLUS Volume5, 2021. e10428.